

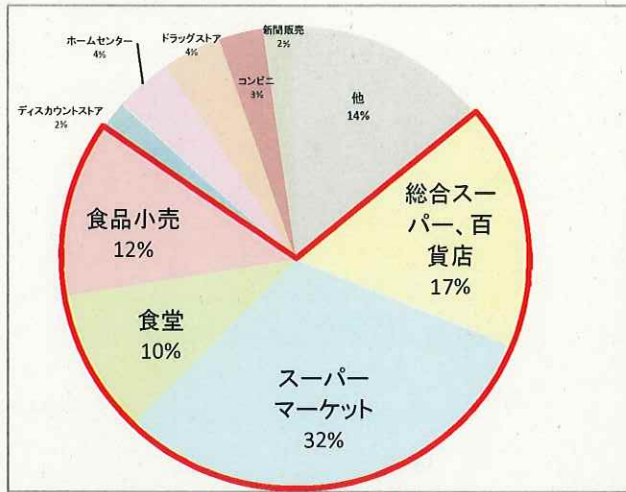
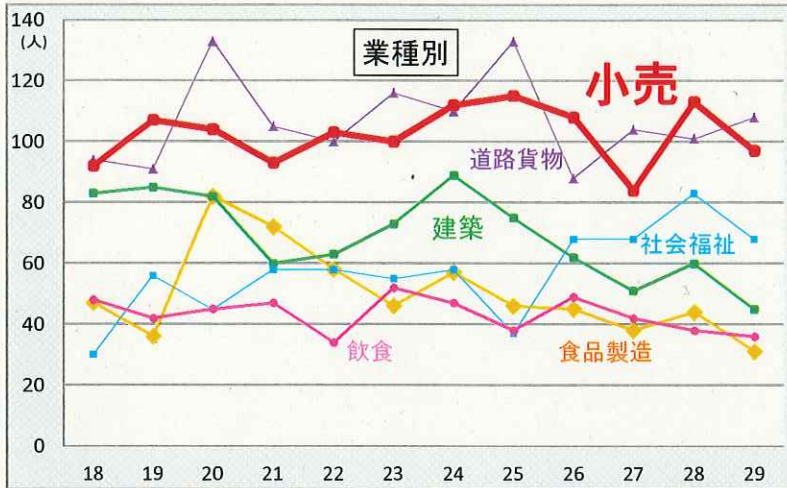
# 店舗での転倒・墜落・腰痛等の災害を防ぐために ～安心・安全な店舗づくりの推進～



13次労働災害防止計画（初年度）  
推進中

## 小売業の労働災害の特徴

◇百貨店、スーパー等食品の取扱い事業場での発生多い



◇転倒災害が多い。被災者の半数は50歳以上で、経験3年未満での発生多い。

**事故の型**

転倒 35%  
墜落 10%  
不用意な動作 18%  
切れ 10%  
他 27%

**年齢**

50代 31%  
60代~ 25%  
20代 11%  
30代 10%  
40代 20%

**経験期間**

1年未満 21%  
1~3年未満 26%  
20年以上 5%  
15~19年未満 7%  
5~10年未満 11%  
3~4年未満 12%

包丁、カッター

バックヤード・通路・駐車場

荷姿の物を取り扱う際

脚立・踏み台使用時

階段

※店舗に労働災害防止の担当者を配置し、働く人の安全意識を向上させる取組

### 安全の担当者（安全推進者）の配置

安全活動の経験、知識のあるものを1名選任、氏名を掲示  
＜主な活動は以下＞

＜職場内の作業方法、危険箇所の改善＞

- ①職場内の4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
- ②包丁や台車等の安全な取扱い
- ③床面の凸凹、水・油等の解消（危険箇所の解消）

＜働く人の安全意識を向上＞

- ①朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知
- ②安全な作業（脚立、器具の操作等）の教育

### 働く人の安全意識向上（私の安全宣言例）

各労働者に考えてもらい、掲示等を行う

**例**

宣言日 平成 年 月 日  
掲示日 平成 年 月 日

## 私の安全宣言

労働災害防止のため 私はこうします！

- ・通路上の整理・整頓を徹底する
- ・濡れている箇所があったら、すぐに拭き取る

会社名 (株) スーパー〇〇店  
氏名 東京 太郎

様式は東京労働局HPよりダウンロード可





# 転倒、墜落・転落、不用意な動作による災害防止対策のポイント

## <墜落・転落>



### ◇作業の前に検討！

- ・脚立等を使用する作業をなくす(高所に置かない)
- ・脚立使用の際は作業に見合った(高さ等)用具使用

### ◇労働者に教育を！

- ・脚立から身を乗り出さない
- ・椅子や机に乗って作業しない
- ・3点(両手・足のうち3点)昇降

## <不用意な動作>



### ◇作業の前に検討！

- ・重い物の運搬方法を検討(台車使用、複数人対応等)
- ・ムリな姿勢とならない作業空間の確保

### ◇労働者に教育を！

- ・持つ際の姿勢(を曲げ、腰を落とす)
- ・腰を捻る等の急な動作をしない

## <転倒>



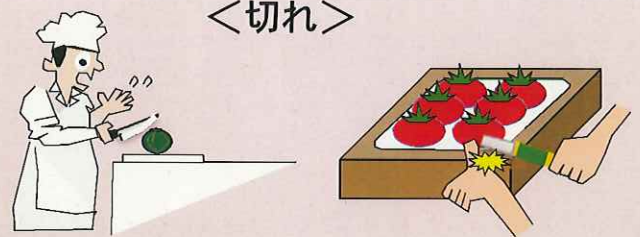
### ◇作業の前に検討！

- ・バックヤードの4S(整理、整頓、清潔、清掃)
- ・作業場に応じた滑りにくい靴の着用(水、油に適した)

### ◇労働者に教育を！

- ・水気を確認したらすぐ除去(道具の備え)
- ・通路を常に確保
- ・慌てない、急がない(足元確認)

## <切れ>



### ◇作業の前に検討！

- ・刃の点検(必要に応じた交換、研ぎ)

### ◇労働者に教育を！

- ・安全な取り扱い方法
  - 包丁使用時、丸い物、固い物等の注意点
  - カッター使用時のは手の位置(切る先に手を置かない)・・・etc
- ・所定の位置への片付け(出しっ放し禁止)

## 働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

小売業・飲食店・社会福祉施設の本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開し、労働災害を減少させることを目的とする運動



安全・安心な店舗・施設をつくるには？

詳しくはこちら → [安全 安心 推進運動](#)

## STOP! 転倒災害 プロジェクト

転倒災害防止に関する意識啓発を図り、転倒災害防止に必要な対策の実施により、職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境を実現することを目的とする取組

やっていますか？



通路及び置き場の区画

濡れやすい箇所にマット

滑りにくい靴(雨油)

転倒しにくい職場をつくるには？

詳しくはこちら → [STOP 転倒](#)